

# 自然の家だより

令和元年  
11月15日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地  
Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email: gishizen@he.mirai.ne.jp URL: https://gikyobun.or.jp/gishizen/

## 発見！ オオカマキリの産卵！

ファミリーパークを散歩中、枯草の方に目を向けると、何か白っぽいものが目に入りました。じっと見てみると、オオカマキリのメスが草の茎に卵を産みつけているところでした。

卵と言っても、右の写真の白いものが1つの大きな卵ではなく、これは「卵鞘（らんしょう）」といって、この塊の中に小さな卵が200～300個くらい入っています。



## どうして卵は卵鞘の中にあるの？

産みつけられた卵鞘は、はじめはまだ白っぽくやわらかいのですが、時間がたつにつれて、だんだん固くなり、色は褐色になっていきます。

この卵鞘は、これからむかえる冬の寒さやその後の暑さ、乾燥や湿気など、厳しい環境の変化から卵を守っているのです。

## 卵鞘をわけてみると？



中には、きれいに並んだ卵がたくさん入っていたよ。



暖かくなると…



翌年の4～5月、暖かくなると、たくさんの幼虫が孵化するよ。

### ※注意

寒い冬でも、温かい部屋などで卵鞘を保管していると、春とまちがえて幼虫が出てしまうので気をつけよう！

## 他のカマキリの卵鞘は？



コカマキリ



地表近くの木の根や倒木、石などに多いよ。



ハラビロカマキリ



樹木の幹や枝、堀や電柱などに多いよ。

みなさん、こんなことを聞いたことはありますか？「カマキリの卵鞘がいつもより高い所に産みつけられていると、その年はたくさん雪が降る。（雪が積もる）」一度、調べてみるのもおもしろそうですね。